

感染防止対策リスト【各業種共通編】

営業の再開・継続時に感染拡大予防のため取り組みんでいただきたいこと
施設ごとに感染リスクの評価を行い、業種ごとに作成された感染拡大予防ガイドラインや、この感染防止対策リストを活用し、徹底した感染防止対策をお願いします。

1. 社会的距離の確保対策(2メートル以上・最低1メートル)

- 社会的距離を確保した客席の配置、利用設備・機材の設置
- 施設への入場前、施設利用中において、周囲の人との社会的距離を保つよう周知
- レジ等の対面する場所にビニールカーテン等を設置
- 混雑時における入場制限(整理券配布等)

2. 従業員及び来客等の保健衛生対策の徹底

- 従業員及び来客等のマスク着用、手洗い、手指消毒、うがいの徹底
- 消毒液の設置、ごみ廃棄時の衛生管理、衣類のこまめな洗濯
- 従業員の体調管理
- 来客等の入場時体調チェック

3. 共用物の衛生管理・換気の徹底

- ドアノブ、客席、テーブル、利用設備・機材等についての消毒
(座席へ交換カバーの設置等)
- 換気設備による換気又は店舗入り口、各部屋のドア等2方向以上の窓、扉を開け
毎時2回以上の換気
- トイレのこまめな清掃、ハンドドライヤー等の使用中止

4. キャッシュレス・チケットレスの推進又は支払時のコイントレイの使用

5. 感染の発生に備えた情報収集

- 入店時に氏名、連絡先を記載してもらう

6. 感染が発生した際の利用者への情報提供

- SNS等の技術を活用した、施設利用者に対する感染発生状況等の情報提供

あわせて遵守いただきたい業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」

業種ごとの感染拡大予防ガイドライン(内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策 WEB ページ)

<https://corona.go.jp/>

感染防止対策リスト【社交飲食業編】

パブ・バー・ダーツバー・キャバレー・スナック・性風俗店

【各業種共通】の取組に加え、下記の事項について特に徹底してください。

① 会話時・飲食時の飛沫防止 ② 接触機会・箇所の最少化

1. 社会的距離の確保対策(2メートル以上・最低1メートル)

- 配席の工夫(席を1つ空ける、互い違いに座る、対面せず片側に座る)
- 各テーブルにアクリル板を設置して接触を回避
- 身体的接触を避ける
- カウンター内とカウンターをアクリル板等により遮蔽又は対面の距離を確保
- ステージと客席との間隔の確保
- 客の横・近距離でのカラオケや各種パフォーマンス等の店内イベントの自粛
- 大声での会話を抑制するためBGMの音量を控える

2. 従業員及び来客等の保健衛生対策の徹底

- 店舗スタッフの健康管理、利用者の体調確認(事前の検温等の実施)
- 飲料等の提供は、紙コップ等を利用し、食器等を通じた感染の回避に努める
- 顔や髪を触らない(ヘアセットの場合には、アップヘアが望ましい)
- 密に対し飲酒が過度にならないよう注意喚起する

3. 共用物の衛生管理・換気の徹底

- 客が入れ替わる都度、テーブル、カウンター、イス等の消毒
- グラス等の回し飲み、食器の共有は避けるよう注意喚起し、大皿等での提供は避ける
- カラオケマイク、選曲端末を、提供又は1回歌うごと(マイク使用ごと)に消毒
- 従業員のロッカールーム・控え室の換気の徹底、控え室内の対人距離の確保の実施

4. キャッシュレス・チケットレスの推進又は支払時のコイントレイの使用

5. 感染の発生に備えた情報収集(入店時に氏名、連絡先を確認)

6. 感染が発生した際の利用者への情報提供

あわせて遵守いただきたい業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」

業種ごとの感染拡大予防ガイドライン(内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策 WEB ページ)

<https://corona.go.jp/>

一般社団法人日本フードサービス協会ガイドライン

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/attach/pdf/ncv_guideline-29.pdf

一般社団法人日本水産売協会ガイドライン

https://mizusyobai.jp/guideline_covid19/

社交飲食業における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

<https://zensyaren.net/2020/06/post-6.html>

オーセンティブクバーにおける新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

http://cocktail.or.jp/pdf/covid19_guideline.pdf

感染防止対策リスト【オーセンティックバー編】

【各業種共通】の取組に加え、下記の事項について特に徹底してください。

- ① 会話時・飲食時の飛沫防止
- ② 接触機会・箇所の最少化

1. 社会的距離の確保対策(2メートル以上・最低1メートル)

- 配席の工夫(席を1つ空ける、互い違いに座る、対面せず片側に座る)
- 各テーブルにアクリル板を設置して接触を回避
- 身体的接触を避ける
- カウンター内とカウンターをアクリル板等により遮蔽又は対面の距離を確保
- 大声での会話を抑制するためBGMの音量を控える

2. 従業員及び来客等の保健衛生対策の徹底

- 店舗スタッフの健康管理、利用者の体調確認(事前の検温等の実施)
- 飲料等の提供は、紙コップ等を利用し、食器等を通じた感染の回避に努める
- 顔や髪を触らない(ヘアセットの場合には、アップヘアが望ましい)
- 客に対し飲酒が過度にならないよう注意喚起する

3. 共用物の衛生管理・換気の徹底

- 客が入れ替わる都度、テーブル、カウンター、イス等の消毒
- グラス等の回し飲み、食器の共有は避けるよう注意喚起し、大皿等での提供は避ける
- メニューブックは清拭消毒可能な素材を使用する
- 従業員のロッカールーム・控え室の換気の徹底、控え室内の対人距離の確保の実施

4. キャッシュレス・チケットレスの推進又は支払時のコイントレイの使用

5. 感染の発生に備えた情報収集(入店時に氏名、連絡先を確認)

6. 感染が発生した際の利用者への情報提供

あわせて遵守いただきたい業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」

業種ごとの感染拡大予防ガイドライン(内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策WEBページ)

<https://corona.go.jp/>

一般社団法人日本フードサービス協会ガイドライン

https://www.naifu.jp/isaigi/n_coronavirus/attach/pdf/hcv_guideline-29.pdf

一般社団法人日本水商売協会ガイドライン

https://mizusuyobai.jp/guideline_covid19/

オーセンティックバーにおける新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

http://cocktail.or.jp/pdf/covid19_guideline.pdf

社交飲食業における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

<https://zenisvaren.net/2020/06/post-6.html>

感染防止対策リスト【特定遊興飲食店(ナイトクラブ)編】

【各業種共通】の取組に加え、下記の事項について特に徹底してください。

- ① 大声の発生や飲食時等の飛沫防止
- ② 客同士の社会的距離の確保
- ③ 30分ごとの換気(音漏れ対策を実施)

1. 社会的距離の確保対策(2メートル以上・最低1メートル)

- 適切な入場制限又は配席の工夫(対人距離の確保)
- 客席の間やDJブースとダンスホールの間等にパーティションを設置する
- ダンサーステージ等と客席との間隔の確保
- カウンターサービス時の客と従業員との距離の確保
- 使用できるロッカーを制限
- 身体的接触(握手、ハイタッチ等)を避ける
- 大声での会話を抑制するためBGMの音量を控える
- 店や店が入る建物出入り口付近でむしろしないよう注意喚起

2. 従業員及び来客等の保健衛生対策の徹底

- 店舗スタッフの健康管理、利用者の体調確認(事前の検温等の実施)
- ダンス等をすすめるスペースにおいてもマスクの着用を徹底
- 利用者に過度な飲酒とならないよう注意喚起
- 食品やドリンク類の取り違えを防止するための適度な照度の確保

3. 共用物の衛生管理・換気の徹底

- 客が入れ替わる都度、テーブル、カウンター等の消毒
- グラス等の回し飲み、食器の共有は避けるよう注意喚起し、大皿等での提供は避ける
- 客の飛沫がかかるとおそれのあるカウンター上部への食器類の陳列を避ける

4. キャッシュレス・チケットレスの推進又は支払時のコイントレイの使用

5. 感染の発生に備えた情報収集(入店時に氏名、連絡先を確認)

6. 感染が発生した際の利用者への情報提供

あわせて遵守いただきたい業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」

業種ごとの感染拡大予防ガイドライン(内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策WEBページ)

<https://corona.go.jp/>

特定遊興飲食店(ナイトクラブ)における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

https://wca-official.com/news/covid19_guidelines_2020/

感染防止対策リスト【ライブホール、ライブハウス編】

【各業種共通】の取組に加え、下記の事項について特に徹底してください。

- ①舞台と客席・客同士の社会的距離の確保
- ②上演時の飛沫防止
- ③30分ごとの換気

1. 社会的距離の確保対策(2メートル以上・最低1メートル)

- 来場人数の制限(原則として従前の50%以下を目安)
- 入退場の際、列の間隔を設けることや、段階的な入退場を行う
- 使用できるロッカーを制限
- ステージと客席の間に充分な間隔を取る
- カウンター内とカウンターをアクリル板等により遮蔽する又は対面の距離を確保
- 身体的接触(握手、ハイタッチ等)の禁止の周知
- 客等へ大声での発声を控えるよう周知
- 入り待ち・出待ちや面会等の禁止要請

2. 従業員及び来客等の保健衛生対策の徹底

- 店舗スタッフの健康管理
- 利用者の体調確認(事前の検温等の実施)
- 客等に公演中もマスクを着用するよう注意喚起
- ロビーや休憩スペースでの対面での飲食や会話を避けるよう注意喚起
- パンフレット・チラシ等は極力手渡しによる配布は避ける
- 客等に飲酒が過度にならないよう注意喚起する

3. 共用物の衛生管理・換気の徹底

- 共有物、スペースの消毒の徹底

4. キャッシュレス・チケットレスの推進又は支払時のコイントレイの使用

5. 感染の発生に備えた情報収集(入店時に氏名、連絡先を確認)

6. 感染が発生した際の利用者への情報提供

7. 所轄の保健所との連絡体制の整備と必要な情報提供

あわせて遵守いただきたい業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」

業種ごとの感染拡大予防ガイドライン(内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策 WEB ページ)

<https://corona.go.jp/>

ライブホール、ライブハウスにおける新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

https://69049377-e859-4431-b888-0879376c31e4.filesusr.com/ugd/39f3a1_e8c686a463b14b4c9bb14eb3055a1e7.pdf

感染防止対策リスト【カラオケボックス等の歌唱を伴う飲食業編】

【各業種共通】の取組に加え、下記の事項について特に徹底してください。

- ①歌唱時の飛沫防止
- ②マイク・リモコン・タッチパネル等の消毒
- ③各部屋の30分ごとの換気

1. 社会的距離の確保対策(2メートル以上・最低1メートル)

- 入店時の列や各客室内での座席配置に配慮するよう工夫
- 入室人数の制限(定員の半分程度、家族限定の利用等)
- ステージと座席との間にビニールカーテン等仕切りの設置
- 個人別マイクとした上での飛沫防止のための防音マイクカバー等の装着
- 歌唱時・飲食時に横並びに座る等により正対を回避するよう周知

2. 従業員及び来客等の保健衛生対策の徹底

- 飲料等の提供は、紙コップ等を利用し、食器等を通じた感染の回避に努める

3. 共用物の衛生管理・換気の徹底

- マイク、リモコン、タブレット端末、カラオケ機器等の高頻度接触部位の消毒
- 共用スペースでの飲食や大声を出すなどの行為を行わないよう注意喚起
- グラス等の回し飲み、食器の共有は避けるよう注意喚起し、大皿等での提供は避ける
- 換気について利用者へ協力依頼(扇風機等の活用により扉から換気)

4. キャッシュレス・チケットレスの推進又は支払時のコイントレイの使用

5. 感染の発生に備えた情報収集(入店時に氏名、連絡先を確認)

6. 感染が発生した際の利用者への情報提供

7. 所轄の保健所との連絡体制の整備と必要な情報提供

あわせて遵守いただきたい業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」

業種ごとの感染拡大予防ガイドライン(内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策 WEB ページ)

<https://corona.go.jp/>

カラオケボックス等の歌唱を伴う飲食の場における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

<http://www.jkba.or.jp/uploads/news/aze082c81b7de927a865d1c5048c8ba7.pdf>

感染防止対策リスト【フィットネス関連施設編】

【各業種共通】の取組に加え、下記の事項について特に徹底してください。

- ①運動時の飛沫防止
- ②利用者が替わることの機器・設備の消毒
- ③毎時3回以上の換気

1. 社会的距離の確保対策(2メートル以上・最低1メートル)

- 使用できるロッカー、機材を制限
- スタジオプログラムを実施する場合は、特に社会的距離に配慮
- 社会的距離が確保できない室内でのスタジオプログラムの中止又は制限
- トレーニング時の身体的接触(補助、握手、ハイタッチ等)を控えるよう周知
- タオル同士の接触・取り違い防止の注意喚起
- 予約制等による人数調整
- フロントにアクリル板を設置して接触を回避

2. 従業員及び来客等の保健衛生対策の徹底

- ロビー、休憩室等での滞留や食事の制限
- 運動時においてもマスク着用の徹底(運動時に呼吸しやすいマスクを推奨)
- 利用者の体調確認(事前の検温等の実施)
- 会話を抑制するルールを設定するなど、会話の制限を徹底
- 管理者不在時で監視代行できない時間帯の営業自粛

3. 共用物の衛生管理・換気の徹底

- フロントを挟んだ対面空間
- 利用者が替わることの設備・機材・座席、テーブル等についての消毒
- 機材の拭き取り用タオルの共用禁止又は消毒液、使い捨てペーパーの設置等
- 設備による毎時3回以上換気又は入り口や窓を開け、毎時3回以上換気

4. 掲示板や頻繁な館内放送による注意喚起の徹底

5. キャッシュレス・チケットレスの推進又は支払時のコインレートの使用

6. 感染の発生に備えた情報収集(入店時に氏名、連絡先を確認)

7. 感染が発生した際の利用者への情報提供

8. 所轄の保健所との連絡体制の整備と必要な情報提供

あわせて遵守いただきたい業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」

業種ごとの感染拡大予防ガイドライン(内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策 WEB ページ)

<https://corona.go.jp/>

一般社団法人日本フィットネス産業協会ガイドライン

<https://www.fia.or.jp/public/19525/>

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、感覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



別紙2 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

利用者

飲酒は ① **少人数・短時間**で、② **なるべく普段一緒にいる人と**、
③ **深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量**で

箸やコップは使い回さず、一人ひとりで

座の配置は**斜め向かい**に（正面や真横はなるべく避ける）

会話する時は、なるべく**マスク着用**

ガイドラインを遵守した「**安全・安心宣言ステッカー**」掲示店で

体調が悪い人は参加しない

お店

お店は**ガイドライン・県の感染防止対策リスト**の遵守を

「**安全・安心宣言ステッカー**」を掲示し、利用者に留意事項の遵守や、**接触確認アプリCOCOA**のダウンロードを働きかける